

## 暖候期の管理

R6.2アグリ技研（株）

温度の上昇に日照時間が長くなり芯葉は徒長気味になり生産性もバラツク時期となって来ましたので草丈は抑気味に果実は肥大促進を図りましょう。。。。。

徒長抑制と果実肥大促進には  
PKゴー2000倍（葉面散布）  
\* 灌水処理も可能です。

この時期の生育維持や食味維持にコラーゲン・ラボ 500倍での葉面散布、灌水処理は5kg”コラーゲンの力で苺管理”



後半の根域維持に  
アミクエを7~10日  
に5~10kg

光合成産物は、水とカリ肥料で果実に運びますのでカリ肥料は大切です。

- ①カリっとの場合は、7日に一度1kg
- ②ウルル18号は、5日に5kg
- ③ふとるの場合は5~7日に5kg

果実の硬果・日持ち対策に

- ①カル元気は5~7日に3kg
- ②有機カルトップ300g

カルシウムは、開花期から定期的に灌水で内容成分で調整します。